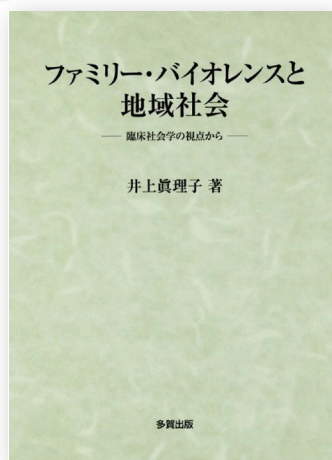


#編集部が届いた執筆者関連本



ファミリー・バイオレンスと地域社会 —臨床社会学の視点から

井上眞理子＝著

本体 4,000 円＋税／A5 判・176 頁／多賀出版／2018

弊誌 2017 年 11 月号特集「今そこにある、ファミリー・バイオレンス」で、臨床社会学の視点から、「社会的要因」や「文化」などの家庭内暴力を発生させる“システムの問題”を示唆した井上眞理子先生の著書。本書では、「児童虐待」と「少年による家庭内暴力」に焦点を絞って現状とその国際比較、発生のメカニズム、そして支援と解決の方途を探っていく。